

狭山茶の魅力とは・・・

埼玉県立歴史と民俗の博物館展示担当 学芸員 町田 歩未

本年度、学芸員として就職しました町田歩未と申します。専門分野は民俗で、常設展示室10室の運営や管理を行っています。博物館での仕事は初めてで未熟な部分が多いかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

民俗学の中でも生業研究を行っており、家の継承に必然性がなく、職業選択が自由な現代社会において「なぜ家業が継承されるのか」ということに関心があります。大学で研究対象としていたのは静岡県のお茶農家です。生産を担うお茶農家は家ごとに戦略を立て、実践することで複数世代に渡って家業を継承していました。

「お茶」は日本人にとって身近な飲み物ですが、各産地によって異なる流通経路や生産者の実態はあまり知られていないようです。埼玉県の「狭山茶」の特徴は、生産・製造・販売が一つの家で一貫して行われている点にあります。お茶の取引価格が下がり続けている昨今、自分が作ったものに自分で値段をつけられるのは、他産地から見たら「羨ましい」限りです。

このような現在の状況と歴史的背景を合わせて考察し、みなさんにわかりやすくお伝えすることができるよう、博物館での業務に取り組んでいきたいと思えます。埼玉県で受け継がれてきた、特徴ある生業があれば、教えていただけると嬉しいです。

これからよろしくお願いたします

埼玉県立歴史と民俗の博物館学習支援担当 学芸員 安達 愛

今年度、当館の学習支援担当となりました安達愛と申します。主に教育普及に関わる業務を担当しており、「ゆめ・体験ひろば」の運営や、学校への出前授業などを行っています。いつもボランティアの皆様にご協力いただきながら、来館者が体験を通して埼玉県の歴史や暮らしについて楽しみながら学んでいただけるようサポートしております。子どもから高齢者の方まで、様々な年代の来館者の方と直に接することができるため、日々多くの発見があります。

専門分野は近現代日本文学で、特に現代の日本児童文学について勉強してきました。埼玉県には、石井桃子さんや瀬田貞二さん、大石真さんなどの現代児童文学を代表する方々が長い期間居を構え、多くの偉大な仕事をされています。また、子どもたちに大人気の飯野和好さん、なかやみわさんなどの現役絵本作家の出身地でもあります。図書館に行けば本が置いてあると思えますので、機会があれば是非読んでみてください。

埼玉県で働く前は、公共図書館の司書や某自治体のミュージアム開設準備室で文学・マンガ分野の学芸員をしていました。これまでの経験を少しでも活かしていければと存じます。

埼玉県で働き始めてからまだまだ日が浅く、至らない点が多いですが、どうぞよろしくお願いいたします。

今後のイベントスケジュール

*申込は『JUNO』に応募要項が掲載されてからお願いします。

ホームページ:<http://junosaitama.net/> ブログ:<http://hakutomobulog.at.webry.info/>

- | | | |
|-------------|----------------------------|---------|
| ○9月20日 (金) | プレミアム講座「“復興の足かせ”から“地域の宝”へ」 | <前号で紹介> |
| ○9月29日 (日) | 講演会「葛西城発掘によって明らかにされた攻防」 | <前号で紹介> |
| ○10月18日 (金) | まち歩き研究会「江戸八富士—4つの富士塚めぐり」 | <今号で紹介> |
| ○10月20日 (日) | 見学会「葛西城跡・小金城跡・国府台合戦跡見学会」 | <今号で紹介> |

クラブ活動 (活動報告)

「古代文化を考える会」=新しい視点で学ぶ日本の古代史=

第2回 倭人(天氏)と高天原 9月1日に開催

参加者は57名。第1回に続き中国史書をはじめ『契丹古伝』や『宮下文書』により「倭人(天氏)・(卑弥氏)」の移動についてお話いただいた。

『契丹古伝』や『宮下文書』の信憑性については疑いを持つ向きもあるが、両書を見ない限り「倭人(天氏)」や「倭人(卑弥氏)」の歴史を究明することは出来ないという。

それらによれば、「倭人」の一派である「天氏(安曇辰伝氏)」は呉の「太伯」の時代(紀元前1200年頃)には呉地方に居たが、「前473年」の「呉越の戦い」による呉の滅亡で、越に追われて中国大陸を北上する。東表、黄河下流域を経て、遼東の箕子朝鮮の地へ移動する(混血)。更に渤海沿岸を回り、秦時代には大凌河の下流域に居住しているという。

「前200年」頃には同じ倭人の「卑弥氏」に国を譲り、渤海から黄海を渡り朝鮮半島の南西部に至る。『宮下文書』には「国狭槌尊」が高天原へ行く道程が詳しく記述されているという。即ち全羅南道の寶城湾に上陸して現在の国道2号線とほぼ同じルートを東に向かい、順天・晋州を経て泗川へ至る。この「泗川」こそ「高天原」の地で、建国は「前200年」頃のことであるという。

一方同じ倭人の卑弥氏も「呉地方」から黄河下流域に来て「倭国」を建国する。— [「倭(国)」を称するのは「倭人」の中でも「卑弥氏(賁彌辰伝氏)」だけである。]

「前300年」頃には黄河下流域から大凌河の上流へ移り、「倭城」を建国するが、秦の支配を嫌った一部は大凌河を下る。そして「前50年」頃には朝鮮半島南部に移動して「倭国」を建国するという。これら倭人の「天氏」と「卑弥氏」はやがて「日本列島」に渡来するが、これについては今後順次お話しいただくこととなります。

次回は12月1日(日)に「倭人(天氏)の渡来(天孫降臨)」を予定しています(確定日時はJUNOでご案内します。)。新しいことを学ぶのは楽しいものです。ご参加ください。(斉藤亨 記)



募集

◆江戸八富士—4つの富士塚めぐり◆

2019年(令和元年)10月18日(金)に「まち歩き研究会」

《日時》2019年(令和元年)10月18日(金) 10時00分~15時00分頃

《集合》西武池袋線 池袋駅改札前(地下) 午前10時 集合 小雨開催

《費用》交通費は各自負担。保険と参加費用:300円

《概要》江戸八富士といわれた富士塚のなかで、これまでまち歩きで廻っていない4つを1日で廻ります。いずれも良好な保存状況の重要な文化財で、駅から徒歩で10分以内の場所です。

《行程》①江古田富士=江古田浅間神社(西武池袋線江古田駅より徒歩、国指定重要有形文化財) →②千駄ヶ谷富士(鳩森八幡神社=JR総武線千駄ヶ谷駅より徒歩、都指定重要有形文化財) 神社付近で昼食休憩後、近くの新国立競技場も見学 →③下谷坂本富士(小野照崎神社=JR鶯谷駅より徒歩、国指定重要有形文化財) 古庚申塔も見学 →④東京富士塚(十条富士=JR東十条駅より徒歩)

《申込・問合せ》①なるべく「ホームページ」の「申込フォーム」より送信フォームをお願いします。

②Eメール(筑井): pu8n-tki@asahi-net.or.jp ③FAX: 048-470-2758 も可

再掲載（前回の JUNO に掲載されたお知らせと同じ内容です）

<講演会>

葛西城発掘によって明らかにされた 北条氏と上杉氏の攻防

講師 谷口 榮氏 （葛飾区観光課主査学芸員）

日時：2019年（令和元年）9月29日（日）午後1時30分～3時（午後1時会場）

場所：当館講堂 東武アーバンパークライン（野田線）大宮公園駅下車徒歩5分

参加費：300円

申込み：往復はがきに、開催日・イベント名・住所・氏名・電話番号・会員番号を明記し、下記の宛先へ

〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町4-219 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会
友の会ホームページの申込みフォームからも応募できます。

定員（150名）になり次第、締め切らせていただきます。

~~~~~  
<プレミアム講座>

## “復興の足かせ” から “地域の宝” へ ～震災復興と埋蔵文化財の調査～

**講師** 堀口 智彦 氏 当館学芸員

日時：2019年（令和元年）9月20日（金）午後1時半～2時半（開場：午後1時）

場所：当館講堂 東武アーバンパークライン（野田線）大宮公園駅下車徒歩5分

参加費用：無料

申込：はがきで下記の宛先へ。ホームページの申込みフォームからも応募できます

〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町4-219 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会  
返信はいたしません。お申込みいただければ、ご参加いただけます。

会員限定ですが、ご家族、お友達はご参加いただけます。

埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会

戦乱の最前線「葛西・市河」

# 葛西城跡・小金城跡・ 国府台合戦跡見学会

9・27「葛西城をめぐる北条氏と上杉氏の攻防」講演会の感動を、谷口榮氏(葛飾区観光課主査学芸員)のご案内の下、再び現地で体感します。小金城址については松戸市立博友の会様にご案内して頂きます。

日 時：10月20日(日) 午前8時・出発

集 合：大宮駅西口ソニックビル横

案 内：谷口榮氏(葛飾区観光課主査学芸員)・他

コース：大宮駅西口＝葛飾テクノプラザ(講話・葛西城遺跡)＝葛西城跡公園＝柴又バス駐車場～八幡神社～参道～帝釈天～昼食(亀家本舗)～散策～(駐車場)＝小金城跡(松戸大谷口)～本土寺＝国府台合戦跡(里見公園)＝大宮駅西口

費 用：7,000円(含 昼食・案内お礼・拝観料)

締切り：定員33人になり次第締め切らせていただきます

申込み：**往復はがき**に イベント名・住所・氏名・電話番号・会員番号を明記し、返信面にも住所・氏名を記入の上、下記宛先まで。

〒337-0042 さいたまま市見沼区南中野 1183-10 齊藤文孝 宛

問合せ：090-4965-8275 齊藤文孝まで

埼玉県立歴史と民俗の博物館・友の会